



# Mercury機能テストイング™

---

コンカレント・ライセンス・サーバ・インストール・ガイド

# Mercury 機能テスト ティング™

コンカレント・ライセンス・サーバ  
インストール・ガイド  
Version 8.0

## Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ・インストール・ガイド, Version 8.0

本マニュアル、付属するソフトウェアおよびその他の文書の著作権は、米国著作権法、および各国の著作権法によって保護されており、付属する使用許諾契約書に基づきその範囲内でのみ使用されるものとします。Mercury Interactive Corporation のソフトウェア、その他の製品およびサービスの機能は次の 1 つまたはそれ以上の特許に記述があります。米国特許番号 5,701,139; 5,657,438; 5,511,185; 5,870,559; 5,958,008; 5,974,572; 6,138,157; 6,144,962; 6,205,122; 6,237,006; 6,341,310; 6,360,332; 6,449,739; 6,470,383; 6,477,483; 6,549,944; 6,560,564; および 6,564,342. 6,564,342; 6,587,969; 6,631,408; 6,631,411; 6,633,912 および 6,694,288。その他の特許は米国およびその他の国で申請中です。すべての権利は弊社に帰属します。

Mercury, Mercury Interactive, Mercury Interactive のロゴ, LoadRunner, LoadRunner TestCenter, QuickTest Professional, SiteScope, SiteSeer, TestDirector, Topaz および WinRunner は、米国およびその他の国の Mercury Interactive Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。上記の一覧に含まれていない商標についても、Mercury Interactive が当該商標の知的所有権を放棄するものではありません。

その他の企業名、ブランド名、製品名の商標および登録商標は、各所有者に帰属します。Mercury Interactive Corporation は、どの商標がどの企業または組織の所有に属するかを明記する責任を負いません。

Mercury Interactive Corporation  
379 North Whisman Road  
Mountain View, CA 94043  
Tel: (650) 603-5200  
Toll Free: (800) TEST-911  
Customer Support: (877) TEST-HLP  
Fax: (650) 603-5300

© 2004 Mercury Interactive Corporation, All rights reserved

本書に関するご意見やご要望は [documentation@mercury.com](mailto:documentation@mercury.com) まで電子メールにてお送りください。

---

# 目次

インストールの前に .....	1
<b>コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ</b> .....	3
コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ .....	5
コンカレント・ライセンス・サーバの更新 .....	7
コンカレント・ライセンス・サーバのインストール .....	8
コンカレント・ライセンス・コードの申請 .....	13
コンカレント・ライセンス・コードの有効化 .....	19
<b>コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント</b> .....	25
一般的なヒント .....	25
コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動 .....	26
ロック・コード .....	27
既知の問題とその解決法 .....	28
<b>ライセンス・サーバのエラー・コード</b> .....	31
エラー 5 : ライセンス・マネージャと通信できません。 「LocalHost」サーバが稼動していません。 .....	31
エラー 19 : ライセンス・コードをインストールできません。 .....	32
<b>コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ</b> .....	35
概要 .....	35
現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示 .....	41
ライセンス・サーバの表示 .....	41
ライセンス・サーバの監視 .....	42
LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定 .....	44
<b>コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール</b> .....	47



---

## インストールの前に

QuickTest Professional, QuickTest Professional アドイン, WinRunner および WinRunner アドインのための Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバへようこそ。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするために必要な最小限のシステム構成は次のとおりです。

<b>コンピュータ/プロセッサ</b>	Pentium 166 MHz 以上のマイクロプロセッサまたは AMD K6-2 以上のプロセッサを搭載した IBM-PC または互換機。
<b>オペレーティング・システム</b>	Windows 98/ME/NT/2000/XP/2003。
<b>メモリ</b>	32 MB 以上の RAM。
<b>ハードディスクの空き容量</b>	10 MB のディスクの空き容量。
<b>アクセサリ</b>	2 x の CD ROM ドライブ。
<b>プロトコル</b>	TCP/IP。

インストールの前に

---

# コンカレント・ライセンス・サーバの セットアップ

QuickTest と WinRunner には、シート・ライセンスとコンカレント・ライセンスの 2 種類のライセンスがあります。Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest バージョン 6.0 以降、QuickTest アドイン・バージョン 6.5 以降、WinRunner バージョン 7.01 以降、および WinRunner アドイン・バージョン 7.6 以降でのコンカレント・ライセンスをサポートします。

本書では、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバとコンカレント・ライセンス・コードのインストールについて知っておくべきことをすべて解説します。登録ユーザ・ライセンスのインストールの詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。どちらのライセンスをインストールすればよいかわからない場合は、関連する製品の『インストール・ガイド』を参照するか、システム管理者またはお近くのマーキュリーの営業担当にお問い合わせください。

また、コンカレント・ライセンス・オプションを使って QuickTest または WinRunner を実行する各コンピュータに、QuickTest または WinRunner クライアントをインストールする必要があります。コンカレント・ライセンスをインストールすれば、任意の数のコンピュータに QuickTest または WinRunner をインストールできます。ただし、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、コンカレント・ライセンス・コードに基づいて、同時実行できる QuickTest または WinRunner、あるいはその両方のコピーの数を制限します。同時に実行できる QuickTest または WinRunner の数を増やすには、マーキュリーから QuickTest または WinRunner の追加ライセンスを購入します。QuickTest および WinRunner クライアントのインストールの詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。



本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバの更新
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバのインストール
- ▶ コンカレント・ライセンス・コードの申請
- ▶ コンカレント・ライセンス・コードの有効化

## コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner を実行するコンピュータは、常にコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスしている必要があります。本節では、コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner をセットアップする手順についてまとめます。

---

**注：**Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest バージョン 6.0 以降および WinRunner バージョン 7.01 以降でのコンカレント・ライセンスをサポートします。WinRunner 7.0（または 7.0 以前）は、WinRunner フローティング・ライセンス・サーバでのみサポートされています。したがって、QuickTest または WinRunner のバージョン 7.01 以降および WinRunner 7.0 以降を使って作業したい場合には、それぞれのライセンス・サーバを、それぞれのコンピュータにインストールする必要があります。

出張に携帯するラップトップ・コンピュータのように、コンカレント・ライセンス・サーバに一時的にアクセスできなくなるコンピュータには、**コミュニティ・ライセンス**機能を使用できます。コミュニティ・ライセンス機能は、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのバージョン 7.6 以降で使用できます。コンカレント・ライセンス・サーバの以前のバージョンのライセンス・コードをお持ちの場合は、マーキュリーのカスタマー・サポートに新しい Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードを申請してください。詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。

---

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをネットワーク・コンピュータにインストールします。詳細については、8 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」を参照してください。
- 2 コンカレント・ライセンス・コードを申請します。詳細については、13 ページ「コンカレント・ライセンス・コードの申請」を参照してください。

- 3 マーキュリーからライセンス・コードを受け取ったら、コードを入力してライセンスを有効化します。詳細については、19 ページ「コンカレント・ライセンス・コードの有効化」を参照してください。
- 4 QuickTest または WinRunner を実行する各コンピュータで QuickTest または WinRunner セットアップ・プログラムを実行します。[ライセンスの種類] 画面で **コンカレント ライセンス** を選択します。詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。
- 5 QuickTest または WinRunner の使用を開始します。QuickTest または WinRunner は起動されると自動的にライセンス・サーバを探し、それに接続します。

---

**注：**お使いの QuickTest または WinRunner クライアント・コンピュータでライセンス・サーバを見つけられず、接続できない場合には、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定が必要になることがあります。詳細については、44 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。

---

## コンカレント・ライセンス・サーバの更新

ネットワーク・コンピュータに以前のバージョンのコンカレント・ライセンスがインストールされている場合は、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ 8.0 に更新できます。

コンカレント・ライセンス・サーバを更新するには、次の手順を実行します。

- 1 **Iservrc** ファイルをバックアップ用に保存します。**Iservrc** ファイルは、Sentinel LM サーバが現在インストールされているフォルダにあります（例：C:\Program Files\Rainbow Technologies\SentinelLM 7.2.0 Server\English\Iservrc）。詳細については、12 ページの手順 5 を参照してください。
- 2 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをネットワーク・コンピュータからアンインストールします。詳細については、47 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール」を参照してください。
- 3 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをネットワーク・コンピュータにインストールします。詳細については、8 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」を参照してください。
- 4 **Iservrc** ファイルを、新しいバージョンの Sentinel LM サーバがインストールされている場所にコピーします。標準では、C:\Program Files\Rainbow Technologies\SentinelLM 7.3.0 Server\English となっています。
- 5 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを再起動します。詳細については、26 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動」を参照してください。

## コンカレント・ライセンス・サーバのインストール

本節では、コンピュータへのコンカレント・ライセンス・サーバのインストール方法について説明します。

---

**注：**コンピュータに以前のバージョンのコンカレント・ライセンスがすでにインストールされていて、最新のバージョンに更新したい場合は、決まった手順に従う必要があります。詳細については、7 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバの更新」を参照してください。

---

ライセンス・サーバは Windows NT 4.0 または 2000, XP, または 2003 が稼動しているコンピュータにインストールすることをお勧めします。ライセンス・サーバは TCP/IP がインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。

---

**注：**TCP/IP がインストール済みで正しく機能していることを確認するには、ライセンス・サーバをインストールするコンピュータがネットワーク上の別のコンピュータから識別できることを確認します。別のコンピュータで **[スタート]** > **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。[名前] ボックスの中に「ping <ライセンス・サーバをインストールするコンピュータの名前>」を入力します。[OK] をクリックします。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されると、MS-DOS ウィンドウが開き、4 つの成功メッセージが表示されます。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されなければ、MS-DOS ウィンドウは開きますが、成功メッセージは表示されません。

---

インストールしたコンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest または WinRunner を使用する際には常に稼動している必要があります。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テスト・ライセンス・サーバのインストール] ウィンドウが開きます。ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。

## Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバのみにインストールします (他のコンピュータにはインストールしません)。

警告: シート ライセンスをご使用になる場合は、この CD をご利用にならないでください。シート ライセンスをインストールするには、シート ライセンスを使って QuickTest または WinRunner を CD からインストールしてください。

### Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバのインストール

ネットワーク ライセンス サーバを機能テスト製品にインストールします。

### コンカレント ライセンスのインストール

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

### インストール ガイドを開く

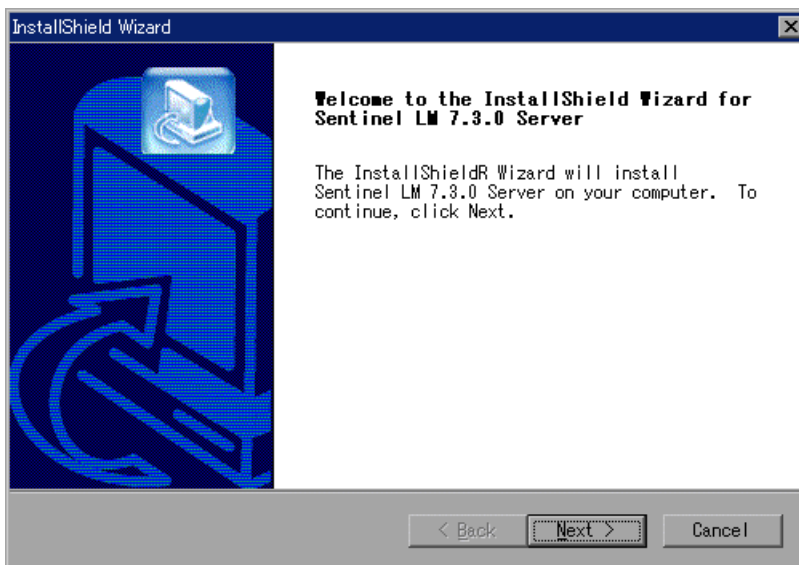
Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。  
([Adobe® Reader® のダウンロード](#))

**終了**

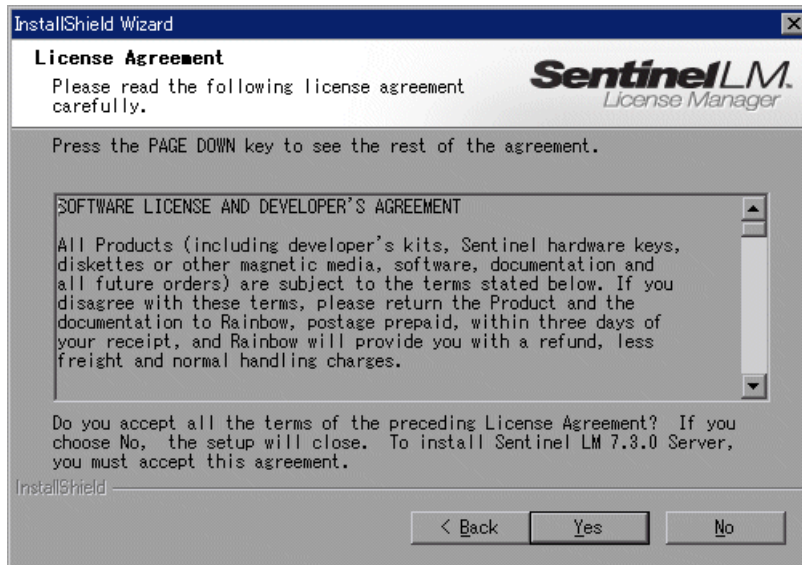
注: オペレーティング・システムによっては、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするのに管理者権限でログインする必要があります。

- 2 [Mercury 機能テストング コンカレント ライセンス サーバのインストール]  
をクリックします。

SentinelLM サーバのセットアップ・プログラムが起動し、SentinelLM の [Welcome] 画面が表示されます。



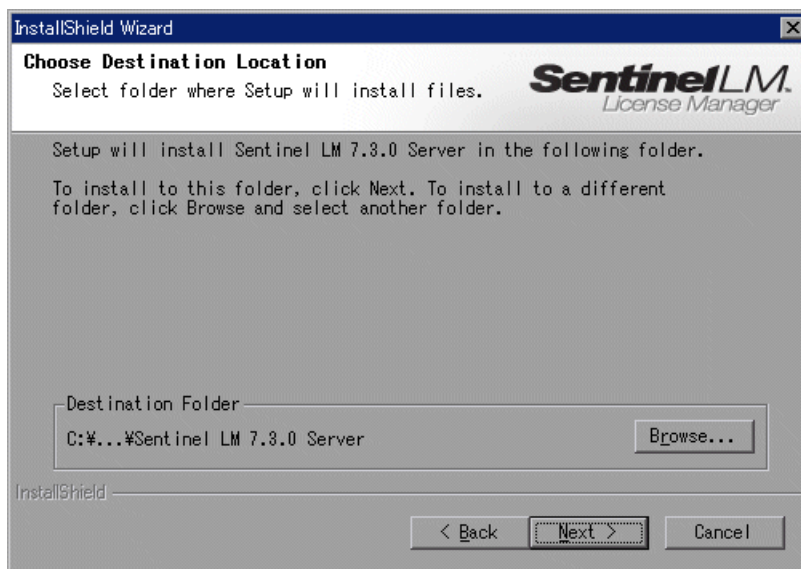
- 3 **[Next]** をクリックします。SentinelLM の **[License Agreement]** 画面が表示されます。



- 4 **[Yes]** をクリックしてライセンス契約の条件に同意し、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをインストールします。**[No]** をクリックすると、セットアップ・プログラムは終了します。



- 5 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのインストール先フォルダを指定します。別のインストール先を選択するには、[**Browse**] をクリックします。



[**Next**] をクリックして続行します。

セットアップ・プロセスが始まります。セットアップ・プロセスを中断、または終了する場合は、[**Cancel**] をクリックします。

- 6 [**Finish**] をクリックしてセットアップ・プロセスを完了します。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたら、QuickTest または WinRunner を使用する前にコンカレント・ライセンス・コードを申請し、有効化する必要があります。デモ版のコンカレント・ライセンスはありません。

## コンカレント・ライセンス・コードの申請

コンカレント・ライセンス・サーバのインストールが完了したら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンスのインストール・プログラムを実行して、マーキュリーにライセンスを申請する必要があります。コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータで実行する必要があります。

コンカレント・ライセンス・コードを申請するには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テスト・ライセンス・サーバのインストール] ウィンドウが開きます。

ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。

**Mercury 機能テスト  
コンカレント ライセンス サーバ**

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバのみにインストールします (他のコンピュータにはインストールしません)。

警告: シート ライセンスをご使用になる場合は、この CD をご利用にならないでください。シート ライセンスをインストールするには、シート ライセンスを使って QuickTest または WinRunner を CD からインストールしてください。

**Mercury 機能テスト コンカレント  
ライセンス サーバのインストール**

ネットワーク ライセンス サーバを機能テスト製品にインストールします。

**コンカレント ライセンスのインストール**

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

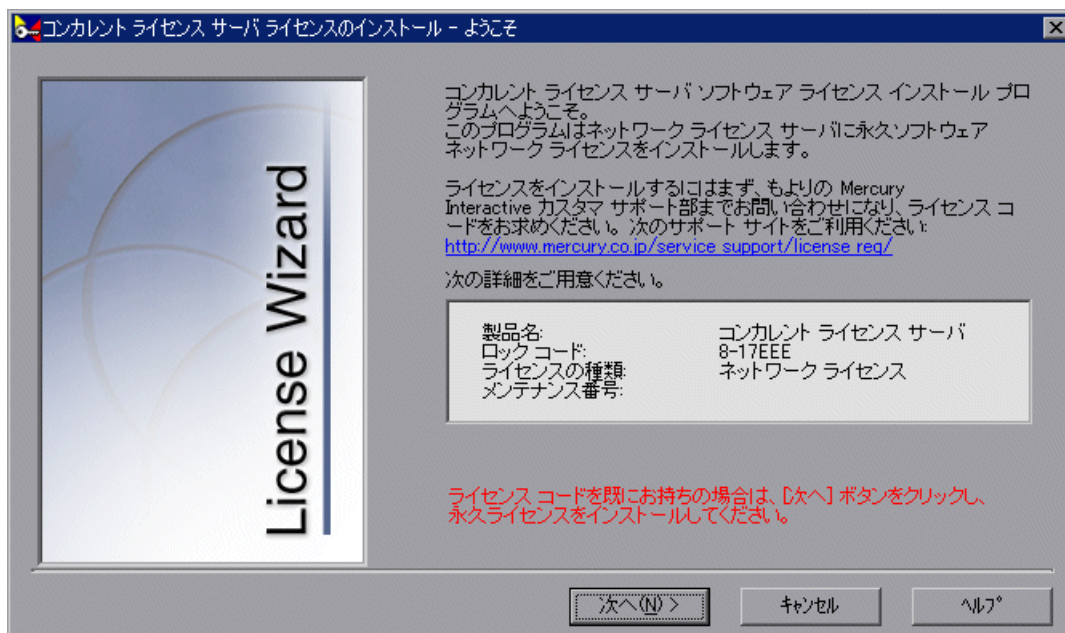
**インストール ガイドを開く**

Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。  
([Adobe® Reader® のダウンロード](#))

終了

## 2 [コンカレントライセンスのインストール] をクリックします。

コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して [ようこそ] 画面が開き、お使いのコンピュータのロック・コードとライセンス・タイプが表示されます。



ライセンス申請には、次の2つの方法があります。

- ▶ オンラインでのライセンス申請
- ▶ ファックスでのライセンス申請

### オンラインでのライセンス申請

オンラインのライセンス申請は次の URL から行うことができます (推奨)。

[http://www.mercury.co.jp/service\\_support/license\\_req/](http://www.mercury.co.jp/service_support/license_req/)

画面 (次ページの図参照) の指示に従って必要事項を記入し、MIJ ライセンス・センターから発行されるライセンスを受け取ってください。ライセンスは電子メールまたはファクシミリで受け取ることができます。

ライセンスを受け取ったら、19 ページ「コンカレント・ライセンス・コードの有効化」に従って、ライセンスを有効にします。



記入内容については、下記に示す各項を参照してください。

区分	項目	説明
新規 / 追加	新規	新規に購入された製品のライセンス・キーを申請する場合は [新規] チェックボックスを有効にします。
	追加	コンカレント・ライセンスの同時アクセス可能ユーザ数を追加する場合は、[追加] チェックボックスを有効にします。
ライセンス申請内容	製品名	購入した製品の名称。
	バージョン	製品のバージョン。
	シリアル番号	ライセンス証書に記載されたシリアル番号。製品を複数購入したときは、すべての製品のシリアル番号を記入してください。
	ライセンス数	購入製品ごとのライセンス・ユーザ数。
	ライセンスサーバ・ロック・コード	ライセンス・サーバをインストールしたマシンのロック・コード。ロック・コードの詳細については、27 ページ「ロック・コード」を参照してください。
使用者の連絡先		ソフトウェアを使用される方の連絡先情報。
申請者の連絡先		ライセンス申請をされる方の連絡先情報。
ライセンス・キーの受け取り方法		ライセンス・キーは、ファックスもしくは電子メールでお送りします。ご希望の方法を選択してください。

## ファックスでのライセンス申請

ライセンス証書キットの中に「ライセンス申請のご案内」というライセンス申請書（次ページの図参照）が含まれています。この申請書に必要な事項を記入し、MIJ ライセンス・センターまでファクシミリで送付してください。

ライセンスを受け取ったら、19 ページ「コンカレント・ライセンス・コードの有効化」に従って、ライセンスを有効にします。

**QuickTest Professional ローカルライセンス申請のご案内**

この度は、マーキュリー・インタラクティブ製品をご購入いただきありがとうございます。ライセンスの申請は、下記**いずれかの方法**にて承ります。

オンラインでの申請
FAXでの申請

オンラインでの申請は、下記URLよりお願いいたします。  
 FAXの場合には、下の申請書の空欄に必要事項をご記入の上、MIJライセンス・センター宛てに送付をお願いいたします。  
 また、ライセンス申請に関するご質問につきましても、MIJライセンス・センターにて承ります。

**オンラインでのライセンス申請の方はこちらから → [www.mercury.co.jp/license/](http://www.mercury.co.jp/license/)**

**FAXでのライセンス申請の方はこちらから → 03-5425-2287** ※オンラインにて申請をされた方はFAXの必要はありません。

**QuickTest Professional ローカルライセンス申請書**

新規     追加    ※いずれかに✓をつけてください。
 年   月   日

1. ライセンス申請内容

製品名	バージョン	ライセンス数	シリアル番号	ロッキングコード

2. 使用者の連絡先

フリガナ氏名	
フリガナ会社名	
部署名	
〒	
住所	
TEL	FAX
E-mail	


3. 申請者の連絡先 (使用者と異なる場合は、ご記入下さい。)

フリガナ氏名	
フリガナ会社名	
TEL	FAX

4. ライセンス・キーの受け取り方法 (いずれかに✓をつけてください。)

E-mail     FAX



  
**MERCURY INTERACTIVE**

**MIJライセンス・センター**  
 Tel : 03-5402-9344    Fax : 03-5425-2287    E-mail : licensetr@mercury.co.jp

記入内容については、16 ページの表を参照してください。

## コンカレント・ライセンス・コードの有効化

マーキュリーからライセンス・コードを受け取ったら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムを再度実行してコードを有効にする必要があります。コンカレント・ライセンス・コードは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータで有効化する必要があります。

コンカレント・ライセンス・コードを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テスト・ライセンス・サーバのインストール] ウィンドウが開きます。

ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。

### Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバのみにインストールします (他のコンピュータにはインストールしません)。

警告: シート ライセンスをご使用になる場合は、この CD をご利用にならないでください。シート ライセンスをインストールするには、シート ライセンスを使って QuickTest または WinRunner を CD からインストールしてください。

**Mercury 機能テスト コンカレント  
ライセンス サーバのインストール**

ネットワーク ライセンス サーバを機能テスト製品にインストールします。

**コンカレント ライセンスのインストール**

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

**インストール ガイドを開く**

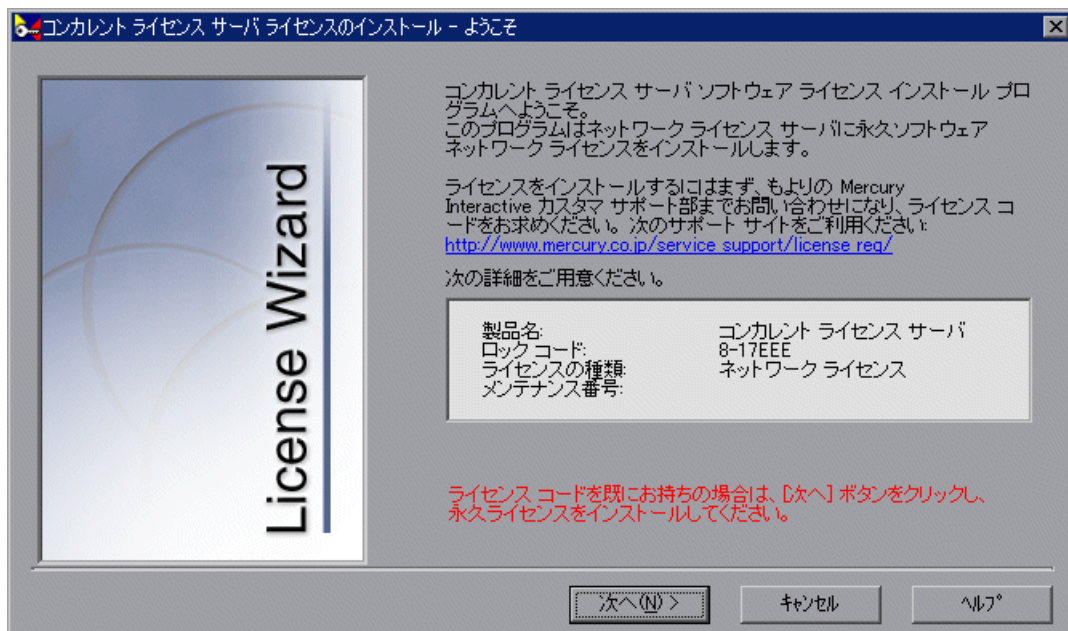
Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。  
(Adobe® Reader® のダウンロード)

**終了**



2 [コンカレントライセンスのインストール] をクリックします。

コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して [ようこそ] 画面が開き、お使いのコンピュータのロック・コードとライセンス・タイプが表示されます。



[次へ] をクリックして続行します。

3 インストールを続ける前にすべての Windows プログラムを閉じるよう求めるメッセージが表示されます。すべての Windows プログラムを閉じ、[次へ] をクリックして続行します。

[User Information] 画面が開きます。

Concurrent License Server License Installation - User Information

Type in below your name and your company name. You must also type in your maintenance number (this number was shipped to you with your product).

**First Name:** John      **Last Name:** Smith

**Company:** Mercury Interactive Japan

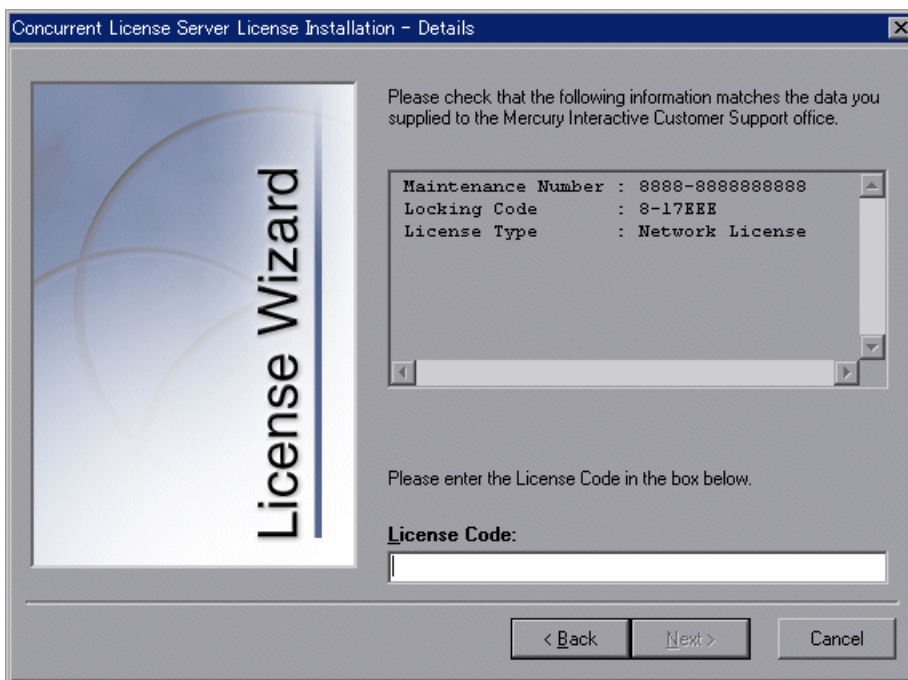
**Maintenance Number:**

< Back      Next >      Cancel

- 4 それぞれのボックスに氏名、および会社名を入力します。[**Maintenance Number**] ボックスには、マーキュリから提供されるメンテナンス番号を入力してください。この番号は、パッケージ・メンテナンス番号の封筒の中の書面または送り状に記載されています。メンテナンス番号によって、カスタマーが識別され、ライセンス・タイプが判断されます。

[**Next**] をクリックして続行します。

- 5 [Details] 画面が開きます。[Details] 画面に表示された情報が正しいことを確認し、MIJ ライセンス・センターが発行したライセンス・コードを [License Code] ボックスに入力します。



ライセンス・コードは、ライセンス申請時に申し出たロック・コードを持つコンピュータでのみ有効です。[Next] をクリックして続行します。

- 6 有効なライセンス・コードを入力すると、[Status] 画面でライセンス・コードが正しくインストールされたことが確認できます。[Next] をクリックして続行します。
- 7 [Finished] 画面が開き、カスタマー・サポート情報が表示されます。[Finish] をクリックしてライセンスの有効化プロセスを完了します。

注：ライセンスと Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの詳細については、マーキュリーのカスタマー・サポート Web サイトの Knowledge Base を参照してください。

QuickTest Professional で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを使用している場合は、Knowledge Base Problem ID 18251 の **Top Astra QuickTest/QuickTest Professional Licensing Articles** を参照してください。

WinRunner で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを使用している場合は、Knowledge Base Problem ID 11625 の **Top Astra QuickTest/QuickTest Professional Licensing Articles** を参照してください。

---

コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

---

# コンカレント・ライセンス・サーバに関する ヒント

本章では、コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒントとトラブルシューティング情報を提供します。また、コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動方法についても説明します。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ 一般的なヒント
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動
- ▶ ロック・コード
- ▶ 既知の問題とその解決法

## 一般的なヒント

QuickTest または WinRunner, あるいはその両方が動作しているクライアント・コンピュータが複数のドメインに分散している場合、ライセンス・サーバを各ドメインにインストールする必要があります。

ライセンス・サーバは Windows NT 4.0 または 2000, XP または 2003 が稼働しているコンピュータにインストールすることをお勧めします。コンピュータには固定 IP アドレスが割り当てられていて、TCP/IP がインストールされている必要があります。

## コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動

ライセンス・サーバをリセットする場合は、コンピュータを再起動することをお勧めします。また、次の手順でコンピュータを再起動せずにライセンス・サーバの停止と再起動を行うこともできます。

---

**注：**コンカレント・ライセンス・サーバは、ホスト・コンピュータが起動すると自動的に立ち上がります。

---

**Windows 2000, XP または 2003 が稼働しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。**

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [管理ツール] をダブルクリックしてから [サービス] をダブルクリックします。[サービス] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 [サービス (ローカル)] リストで「SentinelLM」を選択し、[サービスの停止] をクリックします。
- 4 ライセンス・サーバを再起動するには、「SentinelLM」を反転表示させ、[サービスの開始] をクリックします。

---

**ヒント：**ライセンス・サーバを停止して再起動するには、「SentinelLM」を反転表示させ、[サービスの再起動] をクリックします。

また、LSRVDOWN ユーティリティを使用してライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、37 ページを参照してください。

---

**Windows NT 4.0 が稼働しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。**

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [サービス] をダブルクリックします。[サービス] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 3 [サービス (ローカル)] リストで「**SentinelLM**」を選択し、[サービスの停止] をクリックします。
- 4 ライセンス・サーバを再起動するには、「**SentinelLM**」を反転表示させ、[開始] をクリックします。

**Windows 98 または ME が稼動しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。**

- 1 タスクバーで SentinelLM アイコンを右クリックし、ショートカット・メニューで [閉じる] をクリックします。あるいは、[SentinelLM] 画面で、[ファイル] > [終了] を選択します。
- 2 ライセンス・サーバを再起動するには、コンピュータを再起動します。

## ロック・コード

ロック・コードはライセンス・サーバまたはシート・ライセンス・ホストが生成する番号です。どのコンピュータにもそれぞれ固有のロック・コードがあります。ロック・コードはメンテナンス番号と組み合わせて、サーバ・コンピュータのライセンス・コードを生成するのに使われます。あるコンピュータのロック・コードに基づいて生成されたライセンス・コードを別のコンピュータで使うことはできません。



## 既知の問題とその解決法

次のリストに、既知の問題とその解決法を示します。:

問題	解決法
<p>コンカレント・ライセンス・サーバが QuickTest または WinRunner のクライアントと異なるドメインやサブネットにインストールされている。</p>	<p>ドメイン間で UDP ポート 5093 を開きます。QuickTest または WinRunner のクライアント・コンピュータの LSHOST パラメータまたは LSFORCEHOST パラメータを設定します。詳細については、35 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ」を参照してください。</p> <p>接続を確認するには、Windows コマンド・ラインから ping -a を実行します。</p> <p>成功すると、次のように表示されます。Reply from &lt;サーバの IP アドレス&gt; : &lt;バイト数&gt; &lt;時間&gt;。</p>
<p>コンカレント・ライセンス・サーバを Novell または Unix コンピュータにインストールしたい。</p>	<p>コンカレント・ライセンス・サーバのソフトは Novell, Unix のいずれもサポートしていません。QuickTest または WinRunner のクライアント・コンピュータそれぞれにシート・ライセンス・コードを生成してください。あるいは、Windows プラットフォームのネットワーク・コンピュータをコンカレント・ライセンス・サーバとして使ってください。</p>

問題	解決法
<p>コンカレント・ライセンス・サーバにインストールされた正しいライセンス・コードを持っているのに、QuickTest または WinRunner を起動できない。</p>	<p>自動実行画面からではなく <b>setup.exe</b> ファイルを使って QuickTest または WinRunner をインストールすると、QuickTest または WinRunner は自動的にシート・ライセンス・オプションでインストールされます。QuickTest または WinRunner を起動しようとしたときに開くメッセージ・ボックスで、<b>[ライセンスのインストール]</b> をクリックします。License Installation ユーティリティが起動します。これを使ってライセンス・タイプをコンカレント・ライセンス・オプションに変更できます。</p>
<p>日付を操作するテストなどのために、コンカレント・ライセンス・サーバがインストールされているコンピュータの日付を変更したが、そのためにコンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードがロックされてしまった。</p>	<p>コンピュータの日時を元の値に戻し、MIJ ライセンス・センターにお問い合わせください。</p>

これらの問題に関する情報については、マーキュリーのカスタマー・サポート Web サイト <http://www.mercury.com> で QuickTest および／または WinRunner の Knowledge Base を参照してください。

コンカレント・ライセンス・サーバに関する ヒント

---

## ライセンス・サーバのエラー・コード

本章では、表示される可能性のあるコンカレント・ライセンス・サーバのエラー・メッセージに関する情報を提供します。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。「LocalHost」サーバが稼動していません。
- ▶ エラー 19：ライセンス・コードをインストールできません。

### エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。「LocalHost」サーバが稼動していません。

コンカレント・ライセンス・サーバが停止しています。

- ▶ Windows NT をお使いの場合は、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [サービス] を選択します。SentinelLM サービスを見つけて [開始] をクリックします。
- ▶ Windows 2000, XP, および 2003 では、[スタート] > [プログラム] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。SentinelLM サービスを見つけて [開始] をクリックします。

ライセンス・サーバが起動しなければ、MIJ のライセンス・センターにお問い合わせください。

## エラー 19 : ライセンス・コードをインストールできません。

エラー 19 は次の 2 つの状況で発生します。

- ▶ 「NO-NET」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「Unknown」を追加できなかった。

シート・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

- ▶ 「Localhost」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「UNKNOWN」を追加できなかった。

コンカレント・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

### エラー 19 が起こる原因

以下に、エラー 19 が起こる原因についての一般的な情報を示します。

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・コードがノードロックされており、ライセンス・サーバをインストールしようとしている PC のロック・コードと一致していない。	MIJ のライセンス・センター連絡して、正しいライセンス・コードを再発行してもらいます。
シート・ライセンスをインストールしようとするときに、ライセンス・コードがコンカレント・ライセンス用のものになる。	<b>Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM の %utils から Isdecode.exe を Program Files%Common Files%Mercury Interactive%License Manager にコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・コード情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。</b>

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・コードの入力に誤りがあった。	<p><b>Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM の %utils から Isdecode.exe を Program Files%Common Files%Mercury Interactive%License Manager にコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・コード情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。</b></p>
ライセンス・コードがすでにインストールされている。	<p><b>Iservrc</b> ファイルが、Sentinel LM サーバがインストールされているフォルダにあるかどうかを確認します。標準では、Sentinel LM 7.3.0 サーバは <b>C:%Program Files%Rainbow Technologies%Sentinel LM 7.3.0 Server%English%Iservrc</b> にあります。<b>Iservrc</b> ファイルがある場合は、ライセンス・コードはすでにインストールされています。ライセンス・サーバを使用することもできます。</p>



---

# コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

本章では、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバに含まれるユーティリティの概要について説明します。これらのユーティリティは、QuickTest Professional および WinRunner のコンカレント・ライセンスの管理を支援します。これらのユーティリティは、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバとともに提供される Sentinel ライセンス・マネージャの一部です。

この章で説明するユーティリティの詳細については、**Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM** の `¥server` フォルダ内にある『**SentinelLM System Administrator's Guide (SysAdminGuide.pdf)**』を参照してください。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ 概要
- ▶ 現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示
- ▶ ライセンス・サーバの表示
- ▶ ライセンス・サーバの監視
- ▶ LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定

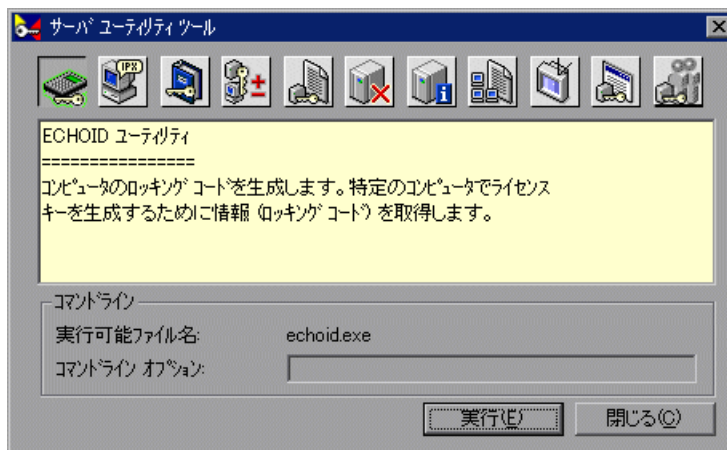
## 概要

WLMADMIN ユーティリティを使って、コンカレント・ライセンス・サーバを監視できます。また、そのほかの Mercury 機能テスト・サーバ管理ユーティリティを使えば、お使いのコンカレント・ライセンス・サーバの特定要素の確認と管理ができます。

**Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ用インストール CD-ROM** の `¥utils` フォルダの中の `SrvUtils.exe` を実行すると、Windows の



ユーザ・インタフェースから Mercury 機能テスト・サーバ管理ユーティリティを開始できます。



次の表に、Mercury 機能テスト・ライセンス管理ユーティリティの簡単な説明と、使いやすくするために簡単な使用例を示します。

変数	説明 / 使用例
ECHOID ユーティリティ  echoid.exe	コンピュータのロック・コードを生成します。お使いのマシンから、特定のコンピュータのライセンス・キー生成に使う情報(ロック・コード)を取得します。
IPXECHO ユーティリティ  ipxecho.exe	コンピュータが動作しているネットワークの IPX アドレスを表示します。ライセンス・サーバの IPX アドレスを調べるのに使用します。
LSDECODE ユーティリティ  lsdecode.exe	ライセンス・コード情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。Mercury 機能テストのコンカレント・ライセンス・コード (lservrc) をデコードし、ライセンス・タイプやコンカレント・ユーザ数の上限などのライセンス情報を取得します。サーバ・ユーティリティのアプリケーション (SrvUtils.exe) と LSDECODE ユーティリティ (lsdecode.exe) が lservrc ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。

変数	説明 / 使用例
<p>LSLIC ユーティリティ</p> <p>lslic.exe</p>	<p>ライセンス・コードを追加または削除します。次のコマンド行オプションを使うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>-a</b> (追加) <b>-f</b> (ファイル名) : ライセンス・ファイルからライセンス・コードを追加</li> <li>• <b>-removeall</b> は Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバからすべてのライセンスを削除</li> </ul> <p>LSHOST 環境変数を使ってライセンス・サーバを指定するか、サーバ・ユーティリティのアプリケーション (<b>SrvUtils.exe</b>) と LSLIC ユーティリティ (<b>lslic.exe</b>) が <b>lservrc</b> ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。</p>
<p>LSMON ユーティリティ</p> <p>lsmon.exe</p>	<p>Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ・コンピュータを監視します。</p> <p>LSMON ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。</p> <p>リモートの Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを監視するには、&lt;ホスト名&gt;または&lt;IP アドレス&gt;を指定します。たとえば、<b>c:\lsmon.exe saturn</b> は saturn ホストを監視します。詳細については、41 ページ「現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示」を参照してください。</p>
<p>LSRVDOWN ユーティリティ</p> <p>lsrvdown.exe</p>	<p>ライセンス・サーバをシャットダウンします。</p> <p>このユーティリティのコマンド行オプションとして、ライセンス・サーバのホスト名を指定します。</p> <p>また、サービスを停止することでライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、26 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動」を参照してください。</p>

変数	説明 / 使用例
<p>LSUSAGE ユーティリティ  lsusage.exe</p>	<p>ライセンス・サーバが生成する、使用情報が表示されます。ライセンス・サーバは発行されたものも拒否されたものも、すべてのライセンス・コードのログを記録しますが、ライセンス・コードの更新は記録しません。</p> <p>例：lsusage.exe -l Usage-log-file</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [-c CSV-Format-New-log-file]</li> <li>• [-f Feature-Name1,Version:Feature-Name2,Version ...]</li> <li>• [-y Start-Year(YYYY) [-m Start-Month(MM) [-a Start-Day(DD)]]]</li> <li>• [-Y End-Year(YYYY) [-M End-Month(MM)] [-A End-Day(DD)]]]</li> </ul>
<p>LSWHERE ユーティリティ  lswhere.exe</p>	<p>ネットワーク上で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを探し、ライセンス・サーバを実行しているすべてのコンピュータの名前を表示します。このユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。- &lt; IP アドレス &gt; パラメータは特定のネットワーク・ホストを探します。</p> <p>詳細については、41 ページ「ライセンス・サーバの表示」を参照してください。</p>
<p>SLMDEMO ユーティリティ  slmdemo.exe</p>	<p>ライセンスを使用するシミュレーションを実行します。このユーティリティは、ライセンスを特定のサーバに「追加」、または特定のサーバから「削除」でき、ログ・ファイルを作ることができます。このユーティリティを使って、ライセンス・キーがライセンス・サーバ・ホストに正しくインストールされ、コンカレント・ライセンスの数が正しいかどうかを確認できます。</p>
<p>WLMADMIN ユーティリティ  WLMAdmin.exe</p>	<p>Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのトランザクションを監視し、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンス・サーバを使って QuickTest または WinRunner を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバが動作していることを確認し、その使用状況を監視することができます。詳細については、42 ページ「ライセンス・サーバの監視」を参照してください。</p>

変数	説明 / 使用例
WLMADMIN ユーティリティ  Wlsgmgr.exe	特定のネットワーク・ユーザまたはコンピュータのライセンス・トークンを保持する予約ファイルの簡単な作成方法を提供したり、特定のユーザまたはコンピュータによるライセンス・トークンの使用を排除したりします。
WCommute.exe	コンカレント・ライセンス・ユーザが、ローカル・コンピュータまたはリモート・コンピュータで QuickTest または WinRunner のコミュニタ・ライセンスをチェック・アウトおよびチェック・インできるようにします。コミュニタ・ライセンスを使用すれば、ネットワークから一時的に切断されているコンピュータでコンカレント・ライセンス・ユーザが QuickTest または WinRunner を一時的に使用できるようになります。 詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。 このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。
WRCommute.exe	QuickTest または WinRunner のコミュニタ・ライセンスを取得およびインストールするのに使用できる、リモート・コンピュータのロック・コードをコンカレント・ライセンス・ユーザが生成できるようになります。 詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。 このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。

次の表では、使用できるコンカレント・ライセンス・サーバを指定または制御するために QuickTest または WinRunner クライアント・コンピュータで使用されている変数について説明します。

変数	説明 / 使用例
LSFORCEHOST 変数	QuickTest または WinRunner クライアントを特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定します（ホスト名あるいは IP アドレスでライセンス・サーバを指定できます）。この変数の設定の詳細については、44 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。
LSHOST 変数	QuickTest または WinRunner クライアントにおいて優先するコンカレント・ライセンス・サーバを指定します。指定されたコンカレント・ライセンス・サーバが見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。リモート・サブネットにあるサーバに接続するには、この変数を使います。この変数の設定の詳細については、44 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。

## 現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示

LSMON ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。

LSMON ユーティリティは DOS ベースのプログラムで、次のものを表示します。

- ▶ QuickTest または WinRunner のコンカレント・ユーザの上限
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの数
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの ID
- ▶ 現在使用されていないライセンスの数

---

**注:** クライアント・コンピュータから LSMON ユーティリティを実行してネットワーク上のすべてのコンピュータの情報を表示するには、LSMON <ライセンス・サーバのホスト名>を入力します。

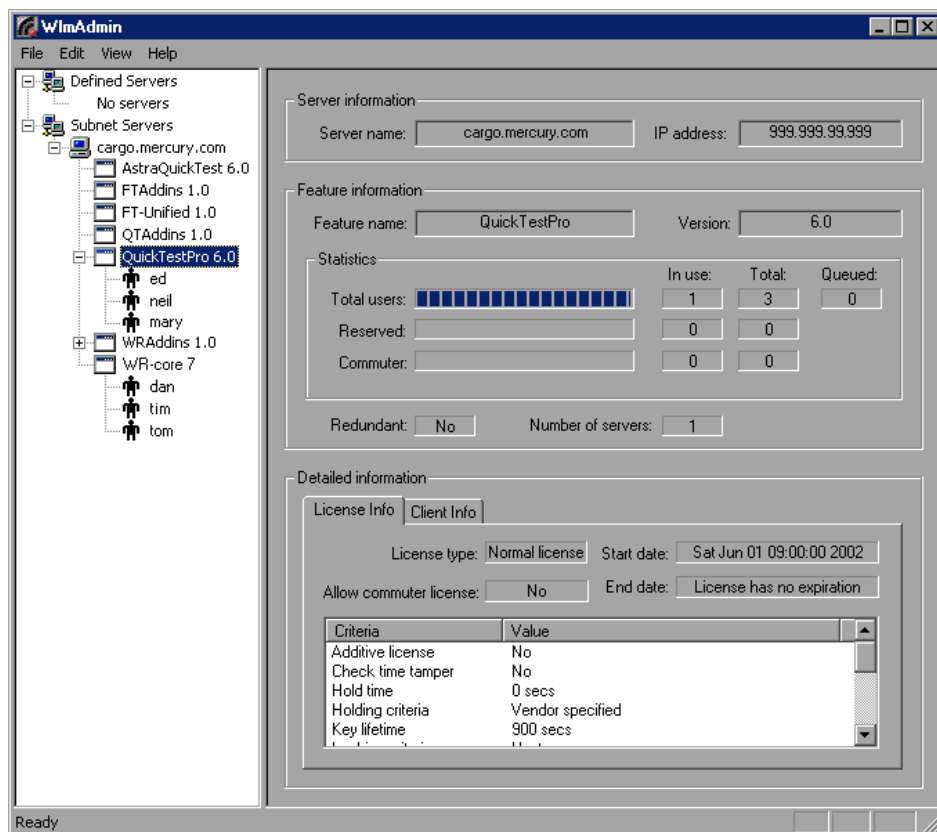
---

## ライセンス・サーバの表示

LSWHERE ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。これは Windows ベースのプログラムで、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを実行しているすべてのコンピュータのネットワーク名を表示します。

## ライセンス・サーバの監視

WLMADMIN ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。このユーティリティは、サーバに接続している各マーキュリー製品によるライセンス・サーバ・トランザクションの監視を可能にし、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンスを使ってマーキュリー製品を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、ライセンス・サーバの動作を監視できます。



上の例では、QuickTest と WinRunner が同じコンカレント・ライセンス・サーバを共有していることに注意してください。

---

注：[Feature name] (ライセンス) は、最初にサポートしたバージョンを示します。たとえば、**QuickTestPro 6.0** は QuickTest Professional のバージョン 6.0 以降をサポートしており、**WR-core 7** は WinRunner 7.0 以降をサポートしています。

---

## ライセンス・サーバによる発行ライセンス・タイプの決定方法について

ユーザが、コンカレント・ライセンスで動作するように設定されている QuickTest または WinRunner クライアントを開くと、クライアントはコンカレント・ライセンス・サーバにライセンス要求を送信します。たとえば、**FT-Unified**、**QuickTestPro 6.0**、および **WR-core 7** のように、コンカレント・ライセンス・サーバに使用可能な複数のライセンスがある場合は、機能テスト・ツールがプログラム・ロジックを適用し、このセッションに必要なライセンス・タイプを決定します。ライセンス・タイプは、**QuickTestPro 6.0** や **WR-core 7** のように製品固有のものもあれば、**FT-Unified** のように QuickTest と WinRunner の両方にグローバルに適用するものもあります。

QuickTest または WinRunner クライアントは、コンカレント・ライセンス・サーバに初めて要求を送信したときに、製品固有のライセンスを要求します。製品固有のライセンスが使用可能な場合は、コンカレント・ライセンス・サーバがライセンスを発行します。製品固有のライセンスが使用不可能な場合は、機能テスト・ツールがグローバル・ライセンスを要求します。使用可能なライセンスが無い場合は、機能テスト・ツールによってすべてのライセンスが使用中であるというメッセージが表示されます。

以降のセッションでは、機能テスト・ツールは、常に前回のセッションで発行されたのと同じライセンス・タイプを要求します。要求されたライセンス・タイプが使用不可能な場合は、機能テスト・ツールは代替りのライセンス・タイプを要求します。

たとえば、QuickTest クライアントが最後に接続されたのが、**QuickTestPro 6.0** ライセンスを発行したライセンス・サーバであった場合、QuickTest クライアントは同じライセンス・タイプを再び要求します。使用可能な **QuickTestPro 6.0** ライセンスが無い場合は、**FT-Unified** ライセンスを要求します。

同様に、WinRunner クライアントが最後に接続されたのが、**FT-Unified** ライセンスを発行したライセンス・サーバであった場合、WinRunner クライアントは



同じライセンス・タイプを再び要求します。使用可能な **FT-Unified** ライセンスが無い場合は、**WR-core 7** ライセンスを要求します。

## LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定

LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定すると、QuickTest または WinRunner は、ネットワーク上の特定の Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを探します。LSHOST 変数は、QuickTest または WinRunner クライアントにおいて優先するコンカレント・ライセンス・サーバを設定します。指定されたコンカレント・ライセンス・サーバが見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。LSFORCEHOST 変数は、QuickTest または WinRunner クライアントを特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定します。LSHOST 変数および LSFORCEHOST 変数については、40 ページで説明しています。

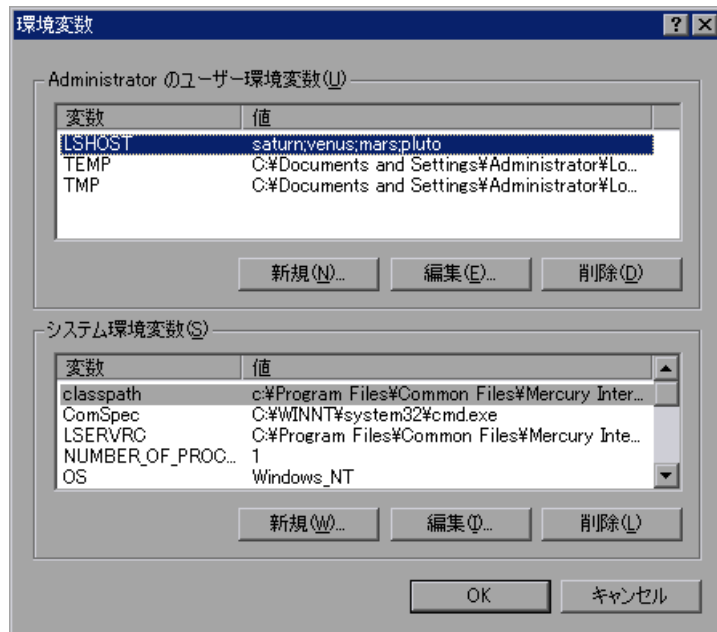
Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバが QuickTest または WinRunner のクライアントとは異なるドメインにインストールされている場合は、28 ページ「既知の問題とその解決法」の指示に従って、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定する必要があることがあります。

**クライアント・コンピュータで Windows 2000, XP または 2003 が稼働している場合に LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定するには、次の手順を実行します。**

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [システム] をダブルクリックします。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 [詳細設定] タブをクリックします。
- 4 [環境変数] ボタンをクリックします。[環境変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 5 [<ユーザー名>の環境変数] リストで [新規] をクリックします。[新しいユーザー変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 6 [変数名] ボックスに LSHOST または LSFORCEHOST と入力します。
- 7 [変数値] ボックスに完全なライセンス・サーバ名を入力します。あるいは、ホスト・コンピュータの IP アドレスを入力してもかまいません。

注：ホスト名が複数ある（たとえば1つのネットワーク上で複数の Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを運用している）場合には、セミコロン (;) を使って [値] ボックスの中のホスト名または IP アドレスの間を区切ります。

- 8 [OK] をクリックして、[新しいユーザー変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。



- 9 [システム環境変数] の中で、[新規] をクリックします。[新しいシステム変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 10 手順 6 と 7 を繰り返します。
- 11 [OK] をクリックして、[新しいシステム変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 12 [OK] をクリックして、[環境変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 13 [OK] をクリックして [システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスを閉じます。

コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

---

# コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール

コンカレント・ライセンス・サーバは、必要であればアンインストールできます。たとえば、ライセンス・サーバを最新バージョンに更新したい場合は、まず以前にインストールしたバージョンをすべてアンインストールしなければなりません。

---

## 注：

コンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールすると、このサーバからコンカレント・ライセンスを使用しているコンピュータは、QuickTest と WinRunner クライアントを実行できなくなります。QuickTest または WinRunner クライアントを実行するには、QuickTest または WinRunner コンピュータにそれぞれシート・ライセンスをインストールするか、別のコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスするようにコンピュータを設定する必要があります。コンカレント・ライセンスのシート・ライセンスへの変更に関する詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。

ライセンス・サーバを別のコンピュータに再インストールするためにアンインストールする場合は、MIJ のライセンス・センターに連絡して、サーバをインストールするコンピュータのロック・コードに対応する新しいライセンス・コードを取得します。

---

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **Iserverc** ファイルのバックアップを保存します。**Iserverc** ファイルは、Sentinel LM サーバが現在インストールされているフォルダにあります（例：`C:\Program Files\Rainbow Technologies\SentinelLM 7.3.0 Server\English\Iserverc`）。詳細については、12 ページの手順 5 を参照してください。

- 2 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [アプリケーションの追加と削除] を選択します。

[アプリケーションの追加と削除] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 3 「SentinelLM 7.x.x Server」を削除します。

---

**注：** インストールに使用した Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM を使用してコンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールすることもできます。CD-ROM は他のバージョンのライセンス・サーバには使用しないでください。予想外の行動を引き起こす可能性があります。

---

